



はなもみじ

平成22年
10月25日

屋代
小学校
ごとうなり

クラブ最終回

～ 充実のクラブ活動、地域講師の方々に心より感謝！ ～

18日(月) 7回予定されていたクラブ活動の最終回が行われました。

これまで、4年生以上の児童が学年・学級の所属を離れ、自分のやりたいこと・得意なことを先生の指導の下、自主的にすすめてきました。

本年度発足したクラブは12あり、その中の4つのクラブは地域講師の方々にお力をお借りしました(右写真)。お陰様で、学校職員ではできないクラブ活動が実現しました。

理科クラブ
吉川 弘義 先生



オリジナルろうそく完成

昔の遊びクラブ
中村 寛 先生



竹馬を作って乗ろう

手芸クラブ
宮本 史子 先生



かわいい小物がたくさん

工作・木工クラブ
酒井 袈裟徳 先生



オリジナル模型の完成

お家でも、持ち帰る作品やクラブカードをご覧いただき、お子さんのクラブ活動のよき思い出を聴いていただくとありがたく思います。また、校内展示発表も行われています。11月参観日の折にご覧ください。

5年生代表児童が「子ども環境サミット」に参加

23日(土)に戸倉創造館で千曲市環境課主催のサミットが行われました。サミットでは、市内の小学生(代表)が一堂に集まり、環境についてそれぞれ調べたことや、実践したこと等を発表しました。また、夏休みに研究した環境関連の作品、マイバッグ持参推進ポスター、手作りマイバッグ等の展示がありました。

本校5年生代表の皆さんは「花作りで人の輪を広げよう」と題して、1年生から取り組んできた栽培活動で学んだ花作りの楽しさや人とのつながりを発表!



帰宅後の生活がダラダラしており、寝る間際まで宿題をやらずに、いつもあわててしまうといったお悩みを聞くことがあります。

特に、発達障害のある子どもは、見通しがもちにくく、興味が次々と移りながら活動することが多いため、ついつい学習は後回しとなりがちです。



学習習慣の定着を



小学生の集中力が続くのは、たいてい学年×10分ほどだそうなので、家庭学習の時間も「学年×10分」といわれます。

帰宅後の生活の流れを一定にする

生活の流れがいつも一定（例：カバン等の片付け おやつ 宿題 遊び お手伝い...）だと、無理なくその活動に向っていかれるようになります。また、カバンや帽子、持ち物等の置き場所、家庭通知を出す場所等を決め、そこにまず置いてから次の活動を始めることも生活を整えることに役立ちます。

集中しやすい環境づくりをする

集中できる時間内に、やるべきことをしっかり終わらせる力を育てます。だらだらとやっている、疲れてしまうだけで、学習は身につけません。

- ・ やるべき課題を 分で終わらせようと目標を設定します。
- ・ 机の上には、今、学習に必要なものだけを出すようにします。
- ・ テレビを消し、不必要な刺激が入ってこないようにします。
- ・ 集中が続かない場合は、間におやつや遊びをいれて休憩します。

小さいうちは、おうちの人の目に入る場所で勉強しましょう。



実態に応じた学習内容とする

宿題は、ほとんどが学級全員に一律に出されています。しかし、それをすべて終わりにするのに時間がかかり、大きな負担になっている場合は、是非とも担任にご相談ください。この子が集中して取り組める時間内でできる「分量」「内容」となるよう、特別な宿題にしてもらいます。

小学生のうちに、家庭学習に集中して取り組むことにより、

「根 気」 = 「継続して何かをやり通す力」

「集中力」 = 「物事に熱中して取り組む姿勢」を身につけたいものです。

根気があれば家庭学習は自然と習慣化します。集中すれば脳の働きもよくなり、効率よく物事を考えることもできるようになります。

